



長野縣下伊那郡竜丘町... 編輯兼印刷人 今村玄吾... 代表者 今村順三... 下伊那郡竜丘村三三三

論 壇

昭和拾年を送る

云はんかたなき焦燥も、昭和十年もやうやく迫つてこゝにいよいよ終りを近づける。非常時に明け非常時に暮れんとする一年を顧るに、外に國難を訴へ内に不況を嘆くの一語に盡く。

一年を反省して

今村 順三

昭和十年の年末を迎えて過ぎし一年を反省する時、一種の物足りない淋しさを禁じ得ません。然此の氣持があれれば、この將來への努力ともなり進歩ともなる物と心をばげます。幸ひ役員諸君の努力と會員諸君の理解ある協力により、無事最後迄責任を果し得た事を感謝し喜ぶものであります。

綜合青年會の言葉が出来て青年會の動向がとかく論議され、ます今一應考えて見る必要があると思ふ。其の本分とする所が青年修養教仕にあると思ふ。將來の方針が決定されるものではないかと思ひます。幸ひ各種團體の協力援助を賜

御禮と御わび

時報終刊によせて

昭和十年もいよいよ迫つてこゝに竜丘時報も今年度の終りを近づけるに當り、われわれの微力にしてよく大禍なく一年を送る事の出来た事は、全く村民各位の陰に御指導御鞭撻の賜と深く感謝致す次第であります。特に多忙な中にも拘らず御投稿下さつて編輯に多大な便宜を御計り下さつた方々や、尙資金難の當事業部に對して、保證金融通の便を被ふした林主計氏、並にこの方面に御理解御援助下さつて三組合の方々、又編輯上カットの方面に特に御手をわすらした久保田創二氏には衷心より御禮申上ます。

青少年教育管見

兩生

數年來經濟界の不況の結果、多額な経費とを費して高等専門教育を受けた者が、その卒業後著しい就職難に喘ぐやうになつた。幸に就職し得た者も實際社會に於て教育當事者も亦一般父

兄も子弟の教育について大いに熟慮と反省を致さなければならぬ情勢を惹起したのである。この結果教育に對する觀點が從來の情性無批判から脱却して眞剣に考慮せられ、特に青年期にあるもの、教育の重要性が従前に比し一層認識強調せらるゝやうになつたのは誠に喜ばしい現象である。

感じたままを

原

「光陰矢の如」と古人は云ました。眞に意味を解し得る今日この頃であります。あはたしい昭和十年も残りになりました。薄學無能な者ながら一年を無事に送らせて戴いたのも一重に皆御助力とのみ深く感じると共に、かへつて感じたままを書き置きます。人々、努力を怠らざるは自己の修養で有ります。又何事にも染りやすいのも青年時代である。聞いておきます。この短期の娘時代に於て、農村を知らず日進月歩の今日に於て

雙及劍

(終り)

雪舞つていよいよ十年の師走も迫る。願に、又非常時に終るの年か！諸問題そのまゝにして日めくりが終る。御他聞にもれぬ不景氣に自然のいたづらはチト酷だ。曰く、蠶作の不成績、米作の不良は百性にとつて最痛い。これに物價が高じりや浮打瀬もない。貧乏の季節を一しと迎へてアヘダ人の何んと多きことよ。せめて製糸の配當でいくらか餅くらい搗きたいものだ。とにかく昭和十年を送る。

農政問題

講習會疎描

那聯合青年會主催郡下各村代表青年問題講習會が郡聯合事務所において拾月拾四の兩日にわたり開催されこれに出席したる記録を簡單ながらも狭き紙面を借りて發表にかへる事とする

(賀生)

況は益々深刻を極めたものである

二、最近における重要農政問題の経過

農業者が自給自足主義の經濟を捨て、余りに交換經濟へと深入りしたために農村資本を都市へ吸収搾取される機會を多くした事と農業者自身が余りに無智であつたが故に、政治的總意を政治上に反映させる事の出来なかつた事、亦教育も功利主義的成功熱をあふり有爲の人材を農村より失つたのみならず益々個人主義へとかり立て、農村の個性とする協同を捨て都市商工資本に對する一騎打の競争を取るに至つた事及び米穀の八割の購買者たる米國民の深刻なる經濟恐慌、生絲に對する人絹の壓迫と共に、朝鮮臺灣における米穀増殖により、生産費高價なる内地米への壓迫等々を主因とするが、その直接の原因は舊價の大暴落による現金収入の激減である

大正三年一貫三圓九十錢、養蠶家一戸當り五三貫七百の収入百八十八圓の収入、同八年十二圓四十錢一戸當り五拾六貫、六百三拾二圓の収入、昭和元年九圓六五錢、五四二圓の収入、同五年三圓五七錢二〇七圓の収入、同九年一戸當り六一貫の収入一三四圓の収入である

その他これにさまひ農産物の暴落、更に租税、負債利子、家計經營用品は依然減少を見ざる處に收支の均衡を得ず不

た場合に三割五分を内地に六割五分を外地に(朝鮮臺灣)貯蔵する、内地貯蔵は主に産業組合をして行はしむるさいふのが則ち米穀自治管理法案であつて第六拾七議會に政府より提出されたものであるが資本をある米穀商の反對のため審査未了に終つた

○蠶絲問題

蠶の取引方法に關し最盛期における蠶價の不自然なる暴落を防ぐために生蠶の取引を一定計劃の下に乾繭取引、特約取引、組合及び委託製糸と合理的な處理形態に誘導すると共に、取引の際には公正なる品質の鑑定を第三者によらしむるといふ目的のもとに産繭處理統制案が第六拾七議會に政府より提出されたもの、大製糸家商仲買人の猛烈なる反對が起り同じく審査未了に終る因に養蠶家の無智なる場所において製蠶家等の甘言にあひ養蠶家自信これに反對調印したる者多數ありさか

長野縣米各地の批評

竜丘米檢駐在所

一、食味不良なること 氣象的に觀し食味良好なる朝鮮平安道方面と同一事情にある信州米なれば食味不良の筈なしこれには肥培關係が原因するもの多しと思はる

二、調製不良なること 龍府縣産米に比し一階級から一階級半下位にありて殊にアラの混在多きは全く驚嘆に値すること 乾燥不良なること 高燥の地なれば標準質米の程度と思ひたるも甚だ乾燥不良なるものあり一般的に

松本本營見學記 夕食終つて新兵器見學、輕機重機、曲射、平射九二式、歩兵砲、九一式防毒面等細部に渡つて説明を聞き八時半頃床に入る各自受持時間に不寝番に立つ。三日目全員午前一時五分起床兵隊さんは朝食を畫食を背負つて大町迄約二拾五里の強行軍に出發する。今だ暗夜だしふくと降る雨に

千二百圓の年収の者に對しての一切の公租公課平均 農業地主 四割五分 自作農 三割一分 商工業者 一割三分 製造業者 一割 ○農村災害問題 風水冷害に對して農民救済の一途として、農災災害保險法の採用を政府にたいして要求して居る

年末福引大賣出し 十二月廿四日より廿日まで 御買上金五拾錢毎に福引券進呈 手帖鉛筆大特賣 トランプ、帳簿類、學用品 花札、萬年筆、家庭文具 かるた、寫眞ブック、日用品 年賀ハガキ 先づ年末の御用意は 時又 新生堂文具店で 電話 三二二番 年年末始の 贈答用御菓子 時又 藤屋菓子店 電話 一七番 時又 田中屋貯物店 時又 伊原酒店 電話 四七番 酒は喜久水 皆さん 若木屋の年末賣出です どのし 出かけ下さい 廿四日より... 卅日迄 電話 十四番

# 就職希望者に福音!! 職工大量注文

平野村職業紹介所より  
役場で事務を取扱ひます

本年十二月より當村役場でも其取扱を開始し、就職方面にも村民の爲便宜を計るべく盡力してゐる平野村職業紹介所よりの就職斡旋事務は先に役場に於て組長會議を開き種々打合せする所が有つたがこの程平野村職業紹介所より就職口の申込が有つた、働くにも職の無い有様の現世にこれ幸

## 資本(四本)は 兩手兩足

— 百姓は何んでも体でやれ —

梅村登氏 講演會

竜丘男女青年會教育部青年會主催竜丘青年學校並に村農會後援のもとに梅村登氏講演會は押迫つた十二月十五日午後七時より小學校紀念館に開催されたが時節柄百人余の聴講者有り立続け四時間の講演に満場興奮の裡に十一時閉會したがちなみ梅村氏は三十八才の壯年で岐阜縣土岐郡土岐町屏風山に農園を營んで居るが十八才の若年より現在の開墾地に登つて苦闘二十年を續けてゐるが當日はその体験談を語られて大いに農村の爲に得る所多き話だった。

### 青春送別會

桐林女青で

青春を送るの會が催された。桐林女子青年會では會員中結婚の爲退會される方を十二月四日公會堂に招じて送別會を行ったが當夜は色々の余興が續出して青春に心残りなき迄の盛大さで十一時閉會した。

### 年末總會

拾二月廿日開催

竜丘青年會年末總會は十二月廿日小學校に開催、本年度事

### 歳末福引賣出し

廿四日—卅日迄

時又商工會の恒例歳末大賣出しは廿四日から卅日迄催されるが、果してこの問題は何か

れるが天龍橋開通及惠比壽講賣出しを大々的に宣傳して行つて大變成績を上げたので今年も大いに宣傳し本年最後の御客様サービスを仕様と各商店必死の勉強をしてゐるが早

## 特別スタンプで 局のサービス

特別切手も  
賣出して

### 向趣郵便局の年賀

竜丘郵便局の年賀郵便取扱は十二月廿日より開始され、もうどん／＼その事務が行はれてゐるが、本年は年賀郵便用の特別スタンプが使用され、尙特別切手も賣出されてゐるので、好人氣をくく景氣上昇の氣運も手傳つてか幾年振りかでの賑ひを見せて早くから相當な成績を収めてゐるがちなみに年賀郵便に特別切手を使用するのは世界で此度が始めてである。

### 丘の通信

●竜丘男女青年會各支會の年末總會は左の如く行はれた。



日常社會生活の中にて痛感する矛盾や、不正や痛憤すべき記事その他、短文のこと、紙上匿名隨意載否は一任を乞ふ

### 製糸合同問題について

大分やましくなつてゐる製糸合同問題はそのまゝ來年へ繰越されるものと思ふ。製糸の關係者にその勞を多と

## おこごわり

### ◆廣告掲載について ◆農繁期二頁發行について

時報編輯最後のペンをおくに際して特に各位の御了解を御願致したいと思ひます。先ず時報に廣告掲載することについて御不満を抱かれる方が有ると承はります。貴重な終面を廣告に依つてうめると云ふことはまことに遺憾であつて方々の御不満も又尤もなる事と老へます。しかし御承知の如く當編輯部は非常な資金難でありまして一年間の總支出に對して青年會々計より、負擔は僅か半分位な程度でいきほひ他方面からの資金捻出を余儀なくされて居ります幸ひ御理解ある三組合の御同情に依りまして其方面の心配は多分に軽減されて居ります。これでも尙一年に四頁で六回位の發行しか出来ない有様であります。責任者として一回でも多く發行仕度いのが人情でありまして不本意ながらも貴重な紙面をさいて廣告掲載は聞いてゐる中に成程と思へたさうな。だから一般にも成程と思つて載せたいと云つてゐる、修養の足りないわれわれにはたゞ漫然と成程と思へない。合同は天下り式ではないかもしれぬが成程と思へが何んだか天下り式に思へてならぬもう少し頭の悪いわれわれにもわかる話を聞きたい。そして安心して合同に賛成して行きたい。もしこんな不安のまゝで合同でも實現さればわれ／＼は進退に迷つてとんだ結果に到るかも知れない。何にしても良く呑み込める説明を希む。(一平)

## 醉止藥と鼻と腦の藥

自動車電車汽車 船等總ての乗物に酔ない藥「シーシツクレメデー」を旅行の際乗物に酔ふ御方は是非一度御試用下さい。必ず酔ないで御氣分の良い旅行が出来ます

時又

沖田商店 電話三四番

蓄膿症や肥厚性鼻炎 すべての鼻の病には信用と効果ある ビノサン療法を御實驗下さい

### 親愛なる

竜丘村の御家庭に呼びかけます

### 皆様の

長壽堂も

從大なる御聲授に依つて

### 業界の第一線に立ち

斷然光輝を放つに到りました

年末年始の御贈答には是非本舖へ：御足勢丈の御利益は充分得られます 電話で御用命は速刻御届けいたします

### 歳末賣出し

廿四日から 五日間

蜂密入長崎カステラ 飯田本四 電話九五一番

伊那羊羹 長壽堂

### 年末大賣出し

足袋 服 ズボン 洋品 ミシン加工品一切 五拾錢以上御買上の方に福引券進呈

時又 佐々木屋洋品店



師走の家庭

体が二つあつても足りない
忙さ一切に注意が肝要
順序よく仕事を運びませう

いよ／＼忙しい年末が近づいてまいりました。毎年の事ですがこの十二月が一番主婦にとつて忙しい時で、漬物から大掃除、餅つき年とり、正月の仕度と矢つぎ早に押しよせる色々は本統に体が二つあつても足りない思ひが致しませんが、忙しからこそよく順序をつけ落付いて仕事を運ばないで間違が起りやすいもので、忙しさの余りよく子供の事など忘れがちで小児に風を引かせたり、又火の元の注意をおこたつてそのうちを起したり致しませんが忙しさからとは云ひながらお互に注意が足りないからです。

暮の事はなるべく早くから手を廻し、出来れば順序よく日課などをきめてかゝれば大變仕事の能率が上ると思ひます。
まづ仕事にかゝる前に小児の有る方など充分に乳を與へた上相當な年齢の子供に守をさせ風邪などひかない様に注意した後の自分の仕事にかゝりたいものです。一日の仕事が終つたらゆつくり今日一日の仕事を取り返つて見て手落はないなどたしかめて後明日の仕事の順序を考へる事です。特に夜業(ヨナベ)などした後は

簡単なあんの作り方

毎年やつてゐますが手輕でまことに重法です
十二月の餅つきから正月に掛けて餅に代つてはならぬ餅粉は晒箱や出来上つたのを買へば世話はありませんが矢張り家で作つた方がおいしく戴けます。私共では毎年こしらへて戴いて居りますが左の方法によるとわりと世話もかゝらずに入用な時いつでも少しづつ、間に合ふので大變重法と思ひますから一寸記して見ます。

まづ小豆を洗い干すべくよくいつて後ひき臼でひいてこれをふるひます。これが餡の元で入用な時は適度な量へ適度な砂糖を加へまして熱い湯でかきまぜればすぐ戴けますが、一寸火にかければ尚よろしうございます(一家婦)

向寒への衛生

これから寒さがはげしくなると凍傷(しもやけ)に冒される人が多し、元來凍傷は皮膚の血液の循環が悪いため起るもので寒さ以外にも心臓の弱い子供などにも現れるが、血

師走の行事

冬至

冬至は(十二月廿三日)太陽が赤道以南の最も遠い所に進んだ時で、晝間が最も短く夜が最も長い時です。我國では聖武天皇神龜二年から始まつたといはれて地方によつてはここの日ゆず湯に浴し小豆粥及南瓜を食べる風習があるがこれは夏病をせぬヨケにするこ傳へられてゐる。

除夜の「かね」

沈治筆談といふ本に「以新易舊曰除、如新舊之交替之歳除」とあつて一年の除かる、夜といふ意味です。宮中にも除夜の御神事あり、各寺院では夜半十二時に至ると百八つの鐘をつきます。これは人間に百八つの煩惱があつて、これを覺醒させる爲の鐘だといはれます。

海上雲遠

昭和十一年の 壽き奉る宮中御恒例の歌御 會始の勅題は十一月七日の如く仰出された

の、方が印刷やペン字より良く一寸圖案版畫などをあしらつてあると一層親しみが増すものです。左に差出の注意を二三上げましたがこれは十分に心得て實行されるべきです。
○宛先方面に元日配達見込みの締切日
▼四國九州方面は廿六日
▼朝鮮、臺灣、滿洲、北海道方面は廿四日
▼奥羽、中國地方は廿七日
▼その他も二十八日迄に出さないと遅れる場合がある。
○差出方法は十文字に把束し

鍋焼を圍んで

「さうさな。だが節季のこの際だ。只で貰ふんば百圓でもいせ」
「只なら百圓どころか拾圓でも結構だよ」
「五圓貰つても有難き限りだ。もう慾は云はないね五拾圓でもいから誰かくれないかなア」
「アハハ、とう／＼本意をはいたね」
「アハハハツハツ」
「ハツ／＼」
なべやきを圍んだ夜は寒く更ける。

時又を歌ふ

南條 五十
(出舟時代を憶ひ)
南風吹きや
帆掛けた舟も
今じやなつかし
風ばかり
(燈籠流し)
二十三日は
御佛歸へり
送りみなとて
燈籠舟
今宵御靈は
燈籠舟に
遙か流れて
灯がにじむ
(盆踊り)
みなと若衆は
東がしらみや
月の出だとして
未だ踊る
粋で御座るよ
お盆のお月
踊る若衆へ
雲の蔭
(初午祭)
人の波だよ
初午祭り



鐘の響の

果て知らず
初午祭りにや
觀音様に
娘願掛け
何によ祈る
(夜景)
宵の時又
薄紅つけて
様を待つよに
招くよに(八、三〇作)

おみち

朝の時に
来て見たが
霧が深うて
町ア見えぬ
工場づとめの
娘よおみち
まめでゐるかよ
達者かよ
きのふ貰つた
あのたより
無事であるとは
いふけれど
とても氣になる
かすれ文字
涙のあとさへ
にじんてる
さぞやつらがる
なあおみち

秋と其の後

張り替へし障子に月のよき夜かな
秋晴れや書をかく人に人だかり
孫の來て袂ひつばる菊いじり
便こぬしぐれる空や町遠し
羽子板を買つて正月待つ子哉
前作
青葉して故郷の心の美しき
叶のひらの豆のほてりや明け易し



日短

まけず氣元て
ゐてくれろ
正月の休にや
時まで
せめて迎に
行つてやろ
暮早き土手に鳥を呼ぶ子達
校舎ます土づきの唄や日短き
南天の垣を雀鳴渡りけり
辭の低き南天買ひのうら戸より
師走
冬 兒
菊枯れて霜除け傘も破れけり
天龍に沿ふて残り霧の雲
賣出しのビラも目につく年の暮
ぬく／＼と冬至の南瓜喰ひにけり